

あなたの色で輝こう ～可能性は∞（無限大）～

久美高だより

第4号

発行 平成30年8月

京都府立久美浜高等学校

住所 京丹後市久美浜町橋爪65番地

電話 0772-82-0069

今夏の久美浜高校 今年の夏も様々な活動がありました

<学校体験セミナー>

8月8日（水）に中学3年生を対象にした「体験セミナー」を実施しました。192人の参加申込があり、会場がぎっしりと埋め尽くされました。参加した中学生からは、

- 「先輩の話に興味を持てた。」
- 「福祉系列の先輩の話が印象的だった。」
- 「久美浜高校のことがよくわかった。」
- 「部活動の雰囲気がよく分かった。」
- 「先生がわかりやすく教えてくれた。」
- 「少人数授業がいいと思った。」
- 「他校の生徒とも協力しながら考えて、交流することができて楽しかった。」
- 「先生や先輩がやさしく教えてくれてわかりやすかった。」
- 「行事のことがよく分かり、楽しそうだった。」
- 「自分の進路を決めるためにとても参考になった。」

などの感想が聞かれました。

学校紹介では、久美浜高校の特徴である『総合学科』『少人数講座』『学校行事』『部活動』について紹介し、さらに4名の在校生が本校の4つの系列の代表として『文理特修系列』『教養系列』『生産科学系列』『福祉系列』の紹介を自分の体験をもとに話しました。

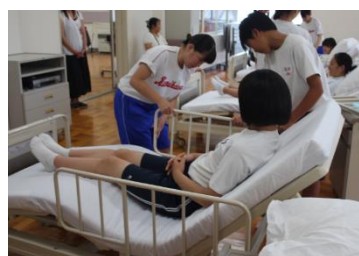


授業体験では8つの講座から参加者の選んだ授業を体験してもらいました。

その後の部活動見学では、各部の在校生がそれぞれの会場に引率し、部活動の様子を見せるとともに、中学生と高校生が交流を深める機会にもなりました。

進路選択を控えている中学生にとってたくさんのことを知る機会になったようでした。久美浜高校で自分の力が伸ばせると感じてくれた生徒が一人でも多く入学してくれることを今から楽しみにしています。

久美浜高校では、11月10日（土）にも、学校公開を行います。次回は複数の授業の見学と部活動の体験を行う予定です。中学生のみなさん、こちらもぜひ、参加してください。



<部活動>

カヌー部 全国高校総体、出場した全員が準決勝進出！

8月3日（金）～6日（月）、気温40度近い酷暑、無風状態の快晴の中、2018全国高校総体カヌー競技が岐阜県長良川国際レガッタコースにて実施されました。

決勝へ進むことはできなかったものの、出場した部員全員が全種目で準決勝まで勝ち上がりました。全国の選手と戦い、そのレベルの高さに驚かされ、悔しい思いをさせられる厳しい大会となりましたが、大きな刺激を得られたようです。それを糧に、今後のカヌー部をさらに盛り上げ、来年度に雪辱を果たしてくれることを期待しています。

保護者のみなさま、地域のみなさま、沢山の熱い御声援をありがとうございました。



写真左：K-2(前から順に)安井堅士朗、今江夏樹

写真中：K-4(手前のチーム、前から順に)田口慧斗、稲垣貴大、山本瑠虎、今江夏樹

写真右：C-2(前から順に)石田真浩、金木隆昌

陸上競技部 近畿陸上競技選手権大会への出場が決定！

7月14日（土）、15日（日）に西京極陸上競技場において、第73回京都陸上競技選手権大会が開催されました。本校からは15名の生徒が参加し、連日38度を超える気温の中、自己ベスト記録を更新する生徒も出ました。小國航大（3年）が男子円盤投で、的井寿里亜（3年）が女子やり投で入賞しました。なお、的井は9月1日（土）、2日（日）に西京極陸上競技場で開催される第86回近畿陸上競技選手権大会への出場が決定しました。

<ボランティア>

久美浜中学校出身の3年生6人が、8日間にわたって久美浜中学校で学習会の補助ボランティアを行いました。教えることの難しさを知るとともに、学習をサポートし、後輩達の役に立てたことが大きな喜びとなりました。



ボランティアに参加した生徒の感想より

「今回は教えられる側ではなく、教える側になって、相手にわかりやすく、簡潔に教えることの難しさを知りました。」

「人に教えるということがどれだけ難しいかを知り、多くの事を考えさせられました。これからの将来、自分の知識を人に教えることがあると思うので、今回の経験を活かしたいです。」



総合学科だけの授業「産業社会と人間」を紹介します

1学期のまとめ

総合学科ならではの授業である「産業社会と人間」では、体験学習や生徒同士の討論を通して、職業の選択・決定に必要な能力や態度、将来の職業生活に必要な態度やコミュニケーション能力を養うことを目的としています。

〈仲間づくりワークショップ〉

仲間と良い関係を築くために、例年通り仲間づくりワークショップを行いました。さまざまなワークショップを通じて、相互理解を深めることができました。



〈R-CAP〉

キャリア教育の一環として、R-CAPに取り組みました。各生徒に自分と周囲や社会との関わり方（8つのタイプに分類）や職業適性ランキング、学問適性ランキングが記載されたものを返却し、ワークシートに取り組む中で自己理解を深めました。友達との比較や結果の分析により、隠された潜在能力に気づく生徒、希望していた進路に対する適性が高く安堵する生徒など、様々な表情が見られました。



〈ボードゲーム〉

コミュニケーション能力の向上や論理的思考力の養成をめざし、ボードゲームを行いました。初めて手にするボードゲームが多数ある中で、悪戦苦闘しながらもルールを理解し、友人と楽しむ姿が見られました。教員との真剣勝負に挑む生徒もいました。



〈言語カドリル〉

「書く」力をつけることを目的に、言語カドリルに取り組みました。書き方やまとめ方、論理的な思考方法を身につけ、2学期以降の課題研究につなげていきます。

「産業社会と人間」今後の予定（2学期・3学期）

〈国際理解教育〉

9月19日（水）に一般財団法人 日本国際飢餓対策機構の清家弘久様をお迎えし、「ハンガーゼロ（飢餓のない）世界を目指して」というタイトルで講演をしていただきます。また、講演会前には、「ミナ笑顔」を通じて、発展途上国の現状や、基本的人権の尊重のためには識字率の向上が大切であることを学びます。講演会後には、さらに理解を深めるためのワークショップを予定しています。

〈社会人交流会〉

久美浜高校の卒業生をまねき、小グループに分かれてそれぞれの職場での様子や将来の夢などについて交流します。

〈課題研究〉

全体を7講座に分けて、課題研究を行います。講座内をさらに3・4グループに分け、研究テーマを設定し、体験活動を通じながら学びを深めていきます。講座によっては、地域の方や地元企業の方にお世話になりながら、実施する予定です。2学期を通じて理解を深めたのち、3学期には研究発表を行い、全体で学びの共有を行っていきます。課題研究発表で優秀賞を決定し、そのグループは、京都フロンティア校研究成果発表会（平成31年2月3日）でも発表する予定です。

今後の日程

9月5日(水)～6日(木)	文化祭
9月15日(土)	センター道場
9月27日(木)	体育祭（雨天の場合は28日に順延）
9月29日(土)～30日(日)	丹後高等学校文化祭典

文化祭を開催します

9月5日（水）・6日（木）の2日間にわたって文化祭を開催します。生徒会執行部、文化委員、文化祭リーダーが指揮を執り、文化祭の成功に向けて準備を進めています。

第一体育館で行うクラス発表では、すべてのクラスが演劇に挑戦します。コメディからミュージカル風の作品、心温まる作品まで、見ごたえのある演劇が予定されています。各クラスでは、7月から文化祭リーダーが中心となり話し合いや練習を重ねて、より高い完成度を求めて取り組んでいます。時には熱が入る余り、意見が対立しクラスがまとまらないこともあります。そうした困難を乗り越えて、文化祭当日には、最高の演技で観客を魅了してくれるのではないのでしょうか。

第二体育館では、書道や美術の作品展示や図書館展を行います。部活動では、吹奏楽部や軽音楽部によるステージ発表のほか、茶道部がお茶席を設け来場者をおもてなしします。また、PTAの御協力により模擬店も予定されています。

また、学校図書館で7月に行った一般公開企画「あなたも使える専門図書館」と「あなたの考える未来の図書館」展（協力：図書館総合展運営委員会、アカデミック・リソース・ガイド株式会社）の展示・投票企画も引き続き行います。

保護者のみなさま、地域のみなさま、ぜひ久美浜高校文化祭にお越しください。

